

徹底討論!
小児リハビリテーションのエビデンス

2025年3月22日(土) 14:40 – 15:40

九州学会 in 鹿児島

症例検討会の目的

みなさんは、小児の臨床で
悩んでいませんか？

小児の臨床に関わるSTは、
きっと、みんな同じ気持ちです。

今、エビデンスと向き合いたい

- 今、小児分野で活躍するSTが増えています。これは、子どもたちやその家族にとって大きな支援となり、とても明るいことです。
- 一方、小児臨床や発達支援は、確固たるエビデンスを見出すことが非常に難しい領域でもあります。
- だからといって、経験だけに頼った臨床を進めるわけにはいきません。
- このセッションでは、2症例を通して、発表者（認定ST）、司会者、討論者、フロアの皆さまと一緒に、臨床のエビデンスについて考えたいと思います。

コンテンツ

発表者 1

中野 江美 先生 (沖縄リハビリテーション福祉学院)

タイトル

「言語発達障害を呈した自閉症スペクトラム症児への評価・指導について
～言語発達の段階と障害を中心とした見方・領域別の見方について考える」

原 有希 先生 (加治木温泉病院)

タイトル

「思いを言語表現できない就学児に対する言語訓練」

発表者 2

<座長>

小倉 道広 先生 (鹿児島大学病院)

<指定コメンテーター>

- ① 池上 敏幸 先生 (菊野病院)
- ② 久保田 空 先生 (ことばの教室そらまめキッズ)
- ③ 西野 将太 先生 (株式会社 L-はぴねす)